

## 6 調整事務

### (1) 教育庁内企画・調整事務

- ① 中期的展望に立った主要施策に関するヒアリング  
「第4次福島県長期総合教育計画」の推進に当たり、中期的展望に立った視点からの施策の調整
- ② 重点施策設定に関する連絡調整  
「平成6年度福島県教育委員会重点施策」の設定及び配付
- ③ 進行管理に関する連絡調整  
「平成4年度の施策・事業の推進状況と今後の方向」のまとめ
- ④ 会津大学における「教育連携プログラム」に関する連絡調整、会津大学との連携・協力推進に関する連絡調整
- ⑤ 企画推進会議の庶務
- ⑥ 学校週5日制の実施方針策定

### (2) 知事部局との調整事務

- ① 企画調整課関係  
政策調整会議、ふくしま新世紀プラン推進会議、平成6年度戦略的構想推進事業関係、イメージづくり推進会議、21世紀FIT構想、地方拠点都市地域整備推進会議ほか
- ② 地域振興課関係  
新山村振興計画、ほか
- ③ 地域整備課関係  
阿武隈地域総合開発、ほか
- ④ 土地調整課関係  
土地利用調整関係、ほか
- ⑤ 交通対策課関係  
福島県総合交通体系検討庁内連絡会、高速自動車道建設関係、ほか
- ⑥ 情報管理課関係  
高度情報化推進委員会関係、ほか
- ⑦ 高齢保健福祉課関係  
高齢化対策推進本部、ほか
- ⑧ 国際課関係  
国際化対応事業、外国青年招致事業関係、ほか
- ⑨ 青少年女性課関係  
青少年健全育成関係、婦人行政連絡協議会関係、ほか
- ⑩ 市町村課関係  
各部重点説明会、ほか
- ⑪ 県立大学整備室関係  
会津大学との連絡調整、ほか
- ⑫ 商工課関係  
郡山地域テクノポリス建設推進関係、ほか
- ⑬ その他  
観光課、都市計画課、環境保全課等及び部局関係、各種審議会、協議会、懇談会等

## 7 国際化・科学技術の進展等への対応

### (1) 中学校・高等学校生徒の科学研究論文

#### 野口英世賞募集

- ① 募集の趣旨  
郷土が生んだ世界的な医学者、「医聖のぐち」とうたわれた野口英世博士の名を冠した賞を制定し、県内の中学校・高等学校生徒を対象に論文の募集、表彰を行い、科学技術の発展に対応した人材の育成に努める。
- ② 応募期間  
平成6年9月8日(木)～平成6年9月14日(水)
- ③ 応募数  
中学校 73点(28校) 高等学校 65点(31校)
- ④ 審査会  
平成6年10月5日(水) 福島県自治会館  
(審査員長)  
東 北 大 学 総 長 西 澤 潤 一  
(審査員)  
福 島 大 学 教 授 樫 村 利 道  
奥 羽 大 学 教 授 吉 田 勝 一  
福 島 県 立 医 科 大 学 教 授 稲 村 裕  
い わ き 明 星 大 学 教 授 川 合 英 俊  
福 島 民 報 社 編 集 局 次 長 渡 辺 義 男  
福 島 民 友 新 聞 社 論 説 委 員 長 森 合 剛 一  
県 中 学 校 教 育 研 究 会 理 科 部 長 齋 藤 壽  
県 私 立 中 学 高 等 学 校 協 会 遠 藤 道 雄  
県 高 等 学 校 教 育 研 究 会 理 科 部 会 長 佐 久 間 房 次  
県 教 育 セ ン タ ー 科 学 技 術 教 育 部 長 齋 藤 洋 一

- ⑤ 表彰式・知事懇談会  
平成6年11月7日(月) 杉妻会館

#### ◇ 最優秀賞

|           |    |         |
|-----------|----|---------|
| 霊山町立霊山中学校 | 2年 | 丹 治 純 一 |
| 福島市立平野中学校 |    | 科 学 部   |
| 県立磐城高等学校  | 2年 | 上 遠 野 航 |
| 県立保原高等学校  |    | 化 学 部   |

#### ◇ 優秀賞

|               |    |           |
|---------------|----|-----------|
| いわき市立平第三中学校   | 1年 | 中 島 千 明   |
| いわき市立小名浜第二中学校 | 2年 | 滝 原 香     |
| 船引町立船引中学校     |    | 科 学 部     |
| いわき市立平第一中学校   |    | 科 学 部     |
| 県立保原高等学校      | 2年 | 菅 野 敬 一 郎 |
| 県立四倉高等学校      | 3年 | 鈴 木 純 子   |
| 県立安積高等学校      |    | 化 学 部     |
| 県立湯本高等学校      |    | 地 学 部     |

- ⑥ 野口英世賞優秀論文集(朝河貫一賞と合本)の作成、配付  
1,500部

### (2) 中学校・高等学校生徒の国際理解・国際交流論文 朝河貫一賞募集

#### ① 募集の趣旨

国際化の進展に対応し、国際社会の一員としての責任を果たすとともに国際理解の推進を図る観点から、郷土